

市民の実情を踏まえた行政サービスの構築、見直しを！



西東京市議会公明党 大林 光昭

問 住居の確保が困難な方を支援するため、家賃補助制度を早期に導入すべき。市の見解は。

答 今後、検討していく。

問 交通不便地域の解消に向け、移動支援の取組を早期に進めるべき。

答 移動支援の早期実現を目指す。

問 障害のある方とご家族を切れ目なく支援できるようケースワーカー制を導入すべき。

答 障害のある方が安心して生活できる相談支援体制を構築する。

問 コロナ禍での妊娠出産や母子を取り巻く環境を踏まえ、産後ケア事業を実施すべき。

答 全国的に産後鬱による自死等の問題も深刻化しており、事業の体制構築は急務。各種調整を進める。

問 小中学生の不登校は過去最多。子どもたちが自分らしく成長し自立

していける、多様な生き方を選択できる機会や場を拡充すべき。

答 保護者や児童生徒が必要な時に進路の選択肢を広げる支援などを確実に行える体制を強化する。

問 特殊詐欺被害防止のための自動通話録音機の無償給付について、防災センターのみでの配布方法を見直すべき。

答 配布の仕方を検討する。



自動通話録音機イメージ

脱炭素社会の実現。教育環境の充実。子どもたちの未来を拓くまちづくりを。



西東京市議会公明党 田代 伸之

問 タブレットを活用した両庁舎間のWEB相談体制の検討状況は。

答 令和4年1月下旬頃から試行実施。検証内容等を精査し2月下旬からの運用開始を目指す。

問 デジタル障がい者手帳を幅広く活用できる環境整備を。

答 障がいのある方の社会生活を支援する体制の充実に努める。

問 今年度中のゼロカーボンシティ宣言に向けて数値目標を明確にと申し上げてきた。検討状況は。

答 2030年度温室効果ガス削減目標を2013年度比46%減。2050年度までに温室効果ガス排出実質ゼロの目標設定を検討。

意見 温室効果ガス排出実質ゼロ達成に向けて、市の強い決意を示すべき。庁舎や学校など公共施設に二酸化炭素排出ゼロ電力の導入を。

問 ヤングケアラー支援の検討状況は。

答 ヤングケアラーに関わる関係部署、機関が情報を把握し、要保護児童対策地域協議会につなぐ情報共有の仕組みづくりを検討する。

問 *ハイリー・センシティブ・チャイルドへの理解と支援体制充実に。

答 学校において、児童生徒の繊細さを理解し、指導、支援していく。



市議会公明党は第17次緊急要望書でコロナワクチン3回目接種前倒しを要望！



西東京市議会公明党 佐藤 公男

問 公明党は、つながりにくい予約電話の体制の見直し等を要望した。その結果、接種券発送の分散化の措置が取られた。3回目接種の前倒しについて市長の見解を伺う。

答 医師会と調整し必要な対応を図る。

各公共施設に学習スペース設置を！

問 以前から提案してきた公共施設での学習スペースの設置だが、どこでやっているか市ホームページで一元的にわかるサイトが必要ではないか。また、各施設に学習スペースの確保を改めて求める。

答 一括して市ホームページで案内する等、利便性の向上を図る。また、余裕スペースや空き時間を活用して実現可能な施設から順次進める。

六角地蔵通りに路側帯設置を！

問 片側にしか路側帯が設置されて

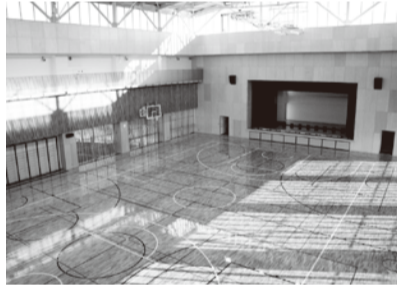
いない六角地蔵通りへの外側線設置を、4年前から求めてきた。検討状況を伺う。

答 本年度一部区間に設置する。

ひばり中体育館にエアコン設置を！

問 ひばりが丘中学校体育館へのエアコンの設置を求める。また、屋上プールに目隠し設置を求める。

答 来年度検証を実施する。プールの目隠しは対応を調整する。



ひばりが丘中学校体育館

かえで通りに市独自の自転車ナビマークを設置し、通行の安全をはかれ！



西東京市議会公明党 藤田 美智子

問 市の道路の安全通行のため、自転車ナビマークの設置を求めてきた。左側通行を徹底することで、逆走防止ができる。検討状況を伺う。

答 ナビマークは、自転車の交通量が多く、事故の危険性のある区間や自転車の乗り入れの多い駅周辺区間など、歩行者、自転車、自動車が安全に通行できる環境を整備するために、ピクトグラムを用いて路面に標示する施策。現在、市内では都道を中心に連続性などを考慮しながら、交通管理者である警視庁が自転車ナビマークの整備を進めている。本市では、市道における自転車ナビマークの整備基準の策定を進めており、整備基準の中で優先的に整備を検討する路線も選定する予定。今年度中を目途に策定し、早期の整備着手を目指していく。

問 経済的に脆弱な母子家庭、解雇等に直面する女性に、職業訓練の柔軟化や託児サービス付与など、より収入の高い就業を可能にする「求職者支援制度」が全国で効果をあげている。本市の取組強化を求める。

答 新たに立ち上げた庁内横断的な調整会議を活用し、情報共有や連絡調整を図り、困難を抱える女性への支援に努めていく。



自転車ナビマーク

第6波感染拡大に備え、PCR検査拡充を！脱炭素社会めざし、目標定めた計画策定を



日本共産党西東京市議団 藤岡 智明

問 コロナ感染の第6波拡大に備え、ワクチン接種と一体に、市独自のPCR検査強化が必要だ。見解は。

答 国の無料検査体制実施に合わせ、都でも体制を構築する。これにより市の検査環境も拡充される。

意見 市として濃厚接触特定者以外の検査料金自費負担軽減対応を。

問 市内感染者の自宅療養体制の抜本的強化について所見を伺う。

答 国は全自宅療養者への健康観察・診療体制を確保するとしている。市として自宅療養者支援を継続し、医師会との連携をさらに進める。

意見 都に対して多摩小平保健所の体制強化を強く要望すること。

ゼロカーボンシティ宣言について

問 *COP26のグラスゴー気候合意等の成果を宣言にどう生かすのか。

答 国際社会の一員として、成果文

書を尊重し、ゼロカーボンシティを実現する施策を考える。

問 2050年ゼロカーボンを目指すにあたり、2030年はCO2半減に向けた重要な節目になる。本市の2030年の位置づけについて見解を伺う。

答 中間目標を定める。第3次環境基本計画策定に当たり、脱炭素社会に向け目標や基本方針等は庁内検討のほか、市民意見も取り入れる。



コロナ第6波に備え全力で対応を市内事業者を守れ



西東京市議会公明党 小幡 勝己

問 第3次総合計画における統合庁舎についての検討状況を伺う。

答 田無庁舎の耐力度調査の結果も検証し、検討を進めていく。

問 コロナ第5波よりも、体制強化、前倒し接種、治療薬確保等を進めよ。

答 東京都へ緊急要望した。

問 原油価格が高騰、燃料値上げの影響と事業者支援について伺う。

答 最重要課題、更に検討していく。

問 新型コロナ対策として全学校の手洗いを、衛生的で節水効果がある非接触型の自動水栓に改修せよ。

答 市立小中学校の手で握り回す蛇口は、水飲み場が2,225個、トイレが764個。効果的な改修を検討する。

問 市民交流施設の名称統一など考え方を整理すべきである。

答 令和4年度に名称統一を図れるよう進める。

問 理学療法士や作業療法士の役割は非常に大切である。連携状況は。

答 理学療法士協会とも協力し連携事業普及啓発を行う。

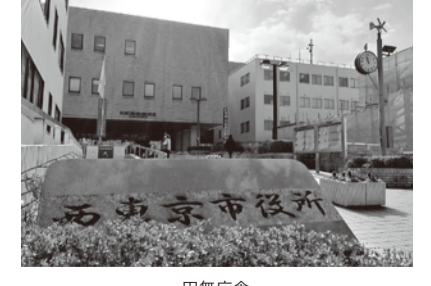
問 橋梁の長寿命化に取り組み。

答 42橋全ての計画を見直す。

問 特殊詐欺撲滅を更に強化せよ。

答 高齢者にも更に注意喚起を行う。

意見 銭湯の火を消してはいけない。



田無庁舎

*COP26 (国連気候変動枠組条約第26回締約国会議) 国連の気候変動枠組条約に加盟している国が毎年開催する会議。世界の気候危機への対処について議論する。2021年は英国スコットランドのグラスゴーで開催された。

*ハイリー・センシティブ・チャイルド (Highly Sensitive Child) 感受性が豊かで、他人の気持ちによく気が付く一方、周囲の刺激に敏感で傷つきやすい、非常に敏感な子どものこと。